

平和な未来を子どもたちに手渡そう

5月7日 第62回 埼玉母親大会が開催

「平和な未来を子どもたちに手渡そう」と全県各地から集う第62回母親大会が越谷市で開かれました。

吉川市からもたくさんの方が会場案内のボランティア、午前中の講演

午後後の分科会（女性の人権・市内見学会まで10の分科会）に参加しました。雪田きよみ市議と小林あき子市議も参加しました。

母親大会は1954年（昭和29年）アメリカの水爆実験で第五福竜丸が死の灰を浴びた事をきっかけに「核兵器廃絶、核戦争から子どもの命を守ろう」という母親たちの願いから始まりました。

母親大会は全国母親大会と県、各地方自治体でも開かれています。新日本婦人の会はじめ、医療、保

育、教育、福祉関係の団体等が連絡会をつくり運営を支えています。今年3月には核兵器廃絶への一歩となる核兵器禁止条約をつくる国連の会議が開かれ、7月までに条約がつけられようとしています。長年の運動の大きな希望です。条約の実現に、各地で今、ヒバクシヤ国際署名が取り組まれています。

『青い空は』は、二度と子どもたちに戦争させてはならないとの思いから

記念講演 小森香子さん

記念講演は平和を願う歌「青い空は」の作詞者、小森香子さんでした。



母親大会の全体会で報告する参加者（越谷市）

小森さんは1930年生まれで、現在87歳です。約2時間にわたってご自身の人生と平和への想いを語ってくださいました。

小森さんの子ども時代は戦争と共にありました。「さくら教科書」を最初に手にした世代です。それまでの黒一色の教科書から一変して、「さくら教科書」はカラー印刷の素敵な教科書でした。

しかし国語の教科書を数ページ繰ると「スススススス ハイタイスス」とか、道徳では「木口古兵は死んでもラッパを離しませんでした」と日清戦争を賛美する内容のもので

「医療・介護はこれからどうなる？何でも聞いちゃお」 分科会



講師の埼玉県社会保障推進協議会の川嶋芳男さんが、最近の社会保障政策について講演しました。

川嶋さんは、2013年安倍政権がつくった「社会保障プログラム法」では、初めて憲法25条の考え方が消

えた。その後5年間で社会保障費は3兆4500億円カットされている。一方では大企業の内部留保は昨年1年で30兆円増え、386兆円と過去最高になったと指摘しました。

このような中で、医療、介護の分野で次々と悪化がすすめられている実態を説明しました。

医療分野では、①国保が来年4月から都道府県が財政運営をし、市町村は県へ納付金を払う仕組みとなり、保険税は市町村ごとに決定権がある事。②地域医療計画では18年、22年度の病床数の決定（大幅な削減）。介護保険では、①3割負担化（対象収入344万円以上）②要介護認定率、要介護認定者減少で国からの交付金を優遇 ③「介護医療院」をつくる（療養病床の廃止）④我が事・丸ごと地域矯正社会（基準緩和・障がい者施設で介護）を上げ、現在国会審議が続けられているとし

お姉さんがカギをかけていた本箱をこっそり釘で開けて、仕舞ってあった岩波文庫の翻訳小説を読み漁りました。その面白かったこと！

その感動をひとりの胸にはしまっておけず、お友達に話してしまったことから「貸して」「貸して」との騒ぎになり、本を工場にもつていかざるを得なくなりました。そして伍長さんに見つかってしまいました。

伍長さんは言いました。「こんなチヤンコロのことを書いた本の、どこがおもしろい！」と。

（不適切な用語ですが、文脈上敢えてそのまま使わせていただきます）「人間らしい小説だと思えます」と小森さんは口答えして、伍長さんに殴られました。自分が踏みにじら

て、予断は許さないが、社会保障推進協議会として自治体要請キャラバンを取り組み、実態を知らせていく事が重要だと課題も提起しながら話しました。

新座から参加の女性

「私は85歳です。若い頃からしつかり働いてきました。子育てし、姑の介護を10年しました。その間、高校生までの医療費無料化、がん検診・特定健診も無料化しました。本当に良く働いてきたと思っています。それなのに、いざ「要支援1」になったら、介護保険使えない。なんなんだと思いつつも、私は医療生協で活動をし続けています」との発言には大きな拍手がわき、司会者から思わず「老人パワーでたかおうよ」とのエールが。（記 小林昭子）

れたと感じて、とても悲しい気持ちでした。反戦意識は、そんなところから生まれたとお話しました。

『青い空は』は、二度と子どもたちに戦争させてはならないとの思いを込めて作った詩です。

母親大会は「命を生み出す母親は、命を守り育てることを望みます」をスローガンに掲げています。戦争のない平和な世界の実現は、全ての女性の願いではないでしょうか。

安倍首相が改憲への意欲を具体的に示し、憲法違反の共謀罪の成立をねらい、ますます危険な方向に傾いていると感じる昨今です。小森さんの静かで力強いお話しは、多くの聴衆を魅了しました。（記 雪田きよみ）